

平成29年(2017年)8月の結果 (二人以上の世帯)

消費支出

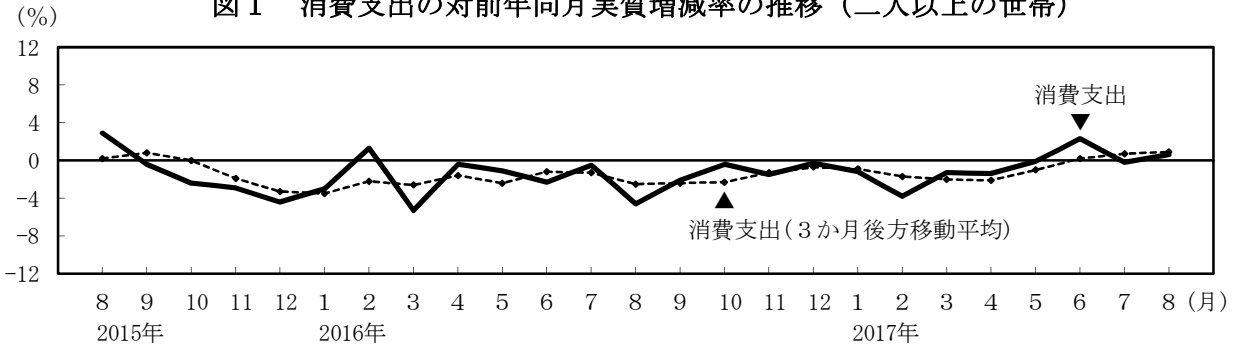
・消費支出は、1世帯当たり 280,320 円
 前年同月比 実質 0.6%の増加 名目 1.4%の増加
 前月比(季節調整値) 実質 0.2%の増加

・消費支出(除く住居等)は、1世帯当たり 246,176 円
 前年同月比 実質 0.2%の増加 名目 1.0%の増加
 前月比(季節調整値) 実質 0.1%の減少

「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

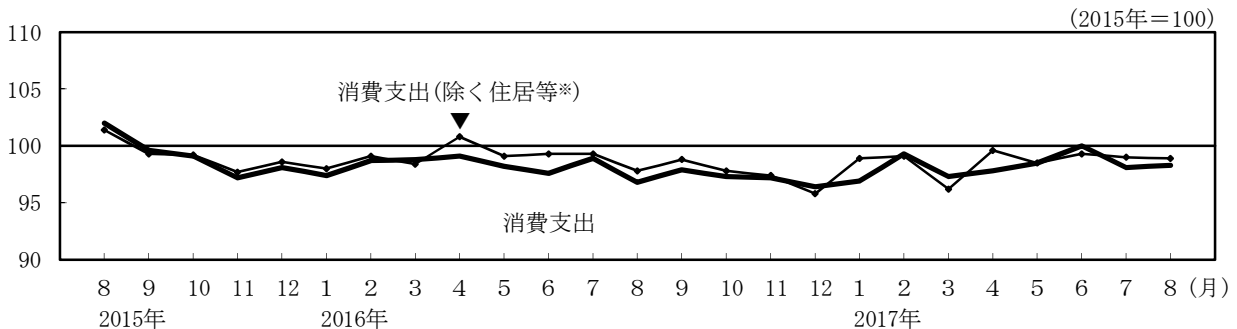
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2016年					2017年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
消費支出	-4.6	-2.1	-0.4	-1.5	-0.3	-1.2	-3.8	-1.3	-1.4	-0.1	2.3	-0.2	0.6
消費支出(除く住居等)	-3.1	-0.6	-0.1	-1.9	-1.5	0.3	-3.7	-1.9	-1.3	-0.8	0.1	0.5	0.2
(参考)3か月後方移動平均													
消費支出	-2.5	-2.4	-2.3	-1.3	-0.7	-0.9	-1.7	-2.0	-2.1	-1.0	0.2	0.7	0.9
消費支出(除く住居等)	-1.5	-1.5	-1.3	-0.9	-1.2	-1.0	-1.7	-1.7	-2.2	-1.4	-0.7	-0.1	0.3

注 3か月後方移動平均は、すう勢的な動向を見るため、当月を含む直近3か月間の金額を平均した値である。
 ここでは対前年同月実質増減率を表章している。

図2 消費支出(季節調整済実質指数)の推移(二人以上の世帯)



	2016年					2017年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
消費支出	96.8	97.9	97.3	97.2	96.4	96.9	99.3	97.3	97.8	98.5	100.0	98.1	98.3
対前月変化率(%)	-2.1	1.1	-0.6	-0.1	-0.8	0.5	2.5	-2.0	0.5	0.7	1.5	-1.9	0.2
消費支出(除く住居等)	97.8	98.8	97.8	97.4	95.8	98.9	99.1	96.2	99.6	98.5	99.3	99.0	98.9
対前月変化率(%)	-1.5	1.0	-1.0	-0.4	-1.6	3.2	0.2	-2.9	3.5	-1.1	0.8	-0.3	-0.1

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

注2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

2 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2017年8月 - 二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	280,320	1.4	0.6	-		2か月ぶりの実質増加
食料	75,089	1.5	0.6	0.17	<増加> 調理食品,肉類など	13か月ぶりの実質増加
住居	15,413	2.7	2.7	0.15	<増加> 設備修繕・維持	2か月ぶりの実質増加
光熱・水道	19,383	3.4	-1.7	-0.11	<減少> ガス代,上下水道料など	4か月連続の実質減少
家具・家事用品	11,249	3.6	3.8	0.15	<増加> 家事用消耗品,家事サービスなど	5か月連続の実質増加
被服及び履物	7,924	-1.2	-1.8	-0.05	<減少> 洋服,シャツ・セーター類など	2か月ぶりの実質減少
保健医療	12,190	-5.7	-7.4	-0.35	<減少> 保健医療サービスなど	2か月連続の実質減少
交通・通信	39,502	6.7	7.1	0.96	<増加> 自動車等関係費,通信	4か月連続の実質増加
教育	6,483	-12.2	-12.5	-0.34	<減少> 補習教育,授業料等	2か月連続の実質減少
教養娯楽	30,755	0.9	0.5	0.05	<増加> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽用品	4か月ぶりの実質増加
その他の消費支出	62,331	0.7	(-0.1)	(-0.03)	<減少> 仕送り金など	2か月連続の実質減少
消費支出 (除く住居等)	246,176	1.0	0.2	-		3か月連続の実質増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類	実質寄与度	品目
<増加項目>		
自動車等関係費	[0.97]	自動車購入,ガソリン
諸雑費	[0.41]	葬儀関係費,装身具
設備修繕・維持	[0.38]	火災・地震保険料,設備器具
調理食品	[0.17]	うなぎのかば焼き,冷凍調理食品
<減少項目>		
補習教育	[-0.23]	中学校補習教育,高校補習教育・予備校
保健医療サービス	[-0.22]	歯科診療代,他の入院料*
魚介類	[-0.10]	さけ,かつお

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

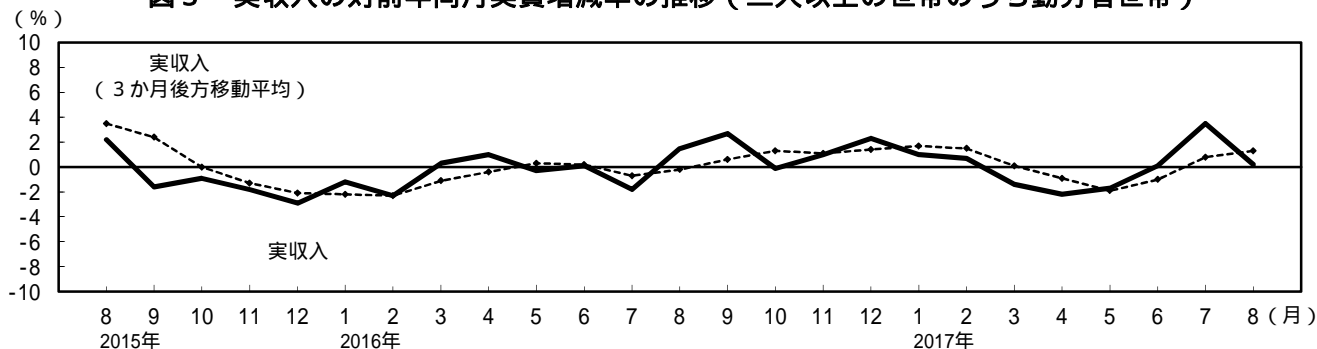
実 収 入

勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり 485,099 円
 前年同月比 実質 0.2%の増加 名目 1.0%の増加

3 勤労者世帯の収支

(1) 勤労者世帯の実収入の推移

図3 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2016年					2017年								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
実 収 入	1.5	2.7	-0.1	1.0	2.3	1.0	0.7	-1.4	-2.2	-1.7	0.1	3.5	0.2	
(参考)3か月 後方移動平均	名 目	-0.6	0.1	1.0	1.2	1.8	2.2	2.0	0.5	-0.5	-1.4	-0.5	1.3	1.9
	実 質	-0.2	0.6	1.3	1.1	1.4	1.7	1.5	0.1	-0.9	-1.9	-1.0	0.8	1.3

(2) 勤労者世帯の収支の内訳

表2 収支の内訳(2017年8月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	485,099	1.0	0.2	-	3か月連続の実質増加
世 帯 主 収 入	362,574	0.0	-0.8	-0.58	3か月ぶりの実質減少
定 期 収 入	347,478	0.5	-0.3	-0.22	3か月ぶりの実質減少
配 偶 者 の 収 入	57,864	0.3	-0.5	-0.06	2か月ぶりの実質減少
他 の 世 帯 員 収 入	9,660	24.9	23.9	0.39	2か月連続の実質増加
非 消 費 支 出	83,966	-5.0	-	-	4か月ぶりの減少
可 処 分 所 得	401,134	2.4	1.6	-	3か月連続の実質増加
消 費 支 出	301,574	0.0	-0.8	-	4か月ぶりの実質減少
平均消費性向(%)	75.2	(前年同月)(ポイント差) 77.0 -1.8			季節調整値で見ると69.8%で、前月に比べ0.6ポイントの上昇となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。